

TPR-101

カセットラジオコーダ取扱説明書



AIWA

このたびはAIWA TPR-101をお買い
上げいただきありがとうございます。

アイワが誇る高度な技術と厳重な品質管理の
のもとに完成した3バンドラジオのついたカ
セットテープレコーダです。この特長を最大に
に生かして末永くご愛用ください。



特 長

●FM / AM / SW高感度ラジオ内蔵

スイッチを切り換えるだけで3バンドポータブルラジオになり、しかも、サウ
ンドモニター方式ですから雑音のない美しいFMの音や、教育講座などを楽しみ
ながら、そのまま録音ができます。

●録音時間はたっぷり1時間半

手の中にすっぽり入る小さなカセット（C-90）で、うらおもて1時間半録音で
きますから、長時間の音楽録音にもタツプです。

●電池でも電灯線でも

野外では電池で、室内では電灯線から電源のとれるたいへん便利な2ウェイ方
式です。

●かんたんに操作できるポップアップタイプ

ボタンを押すだけでカセットが飛び出すニュータイプです。

●自動音量調整（AVC）つき

マイク録音には自動音量調整回路が働き、レベル調整の必要がなく、だれでも
かんたんに美しい録音ができます。

●録音 / 電池レベルメータつき

録音レベルと電池の消耗度がひと目でわかります。

●ストップ / スタートはリモコン操作

手もとのマイクのリモコンスイッチでテープの進行、停止が自由自在。録音チ
ャンスを逃がさずテープが有効に使えます。

●高性能単一指向性ダイナミックマイクロホン使用

この単一指向性ダイナミックマイクロホンは正面からの音には高感度ですが側
面からの音を50%、背面からの音を80%以上もカットしますので雑音の少ない
きれいな録音ができます。

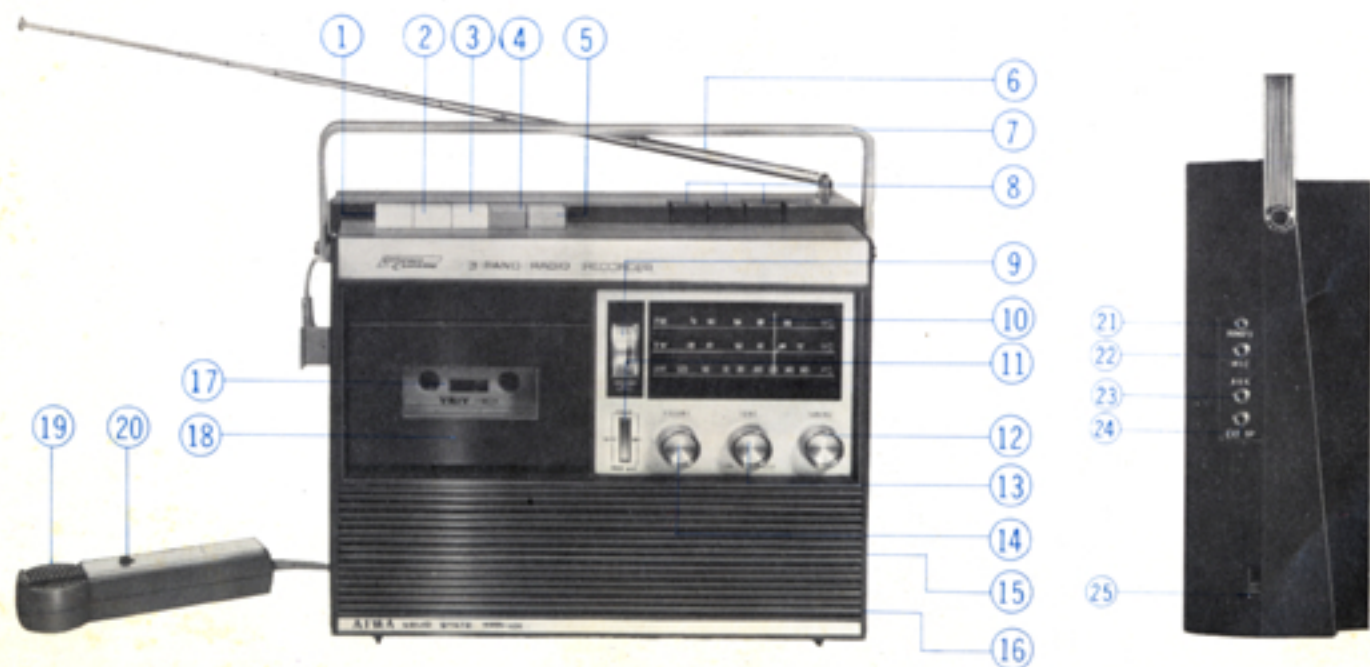
各部の名称

- ① REW 巻き戻しボタン
- ② F.FWD 早送りボタン
- ③ FWD 再生ボタン
- ④ カセットオフ / ストップボタン
- ⑤ REC 録音ボタン
- ⑥ テレスコピックアンテナ
- ⑦ 吊手

- ⑧ バンドセクターボタン
- ⑨ 電池 / 録音レベルメータ
- ⑩ ダイアル目盛
- ⑪ テープ / ラジオ切り換えスイッチ
- ⑫ チューニングつまみ
- ⑬ 音質調整つまみ / ビート防止スイッチ
- ⑭ ON-OFF 電源 / 音量調整つまみ

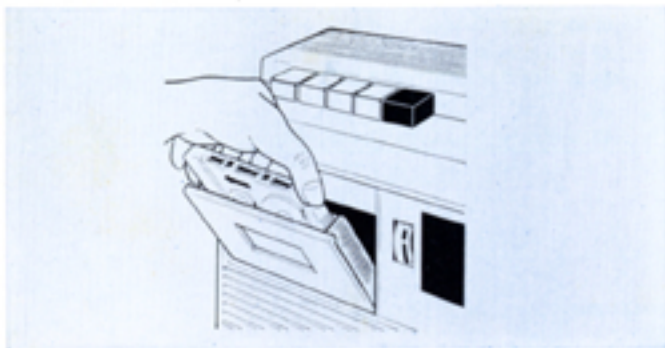
- ⑮ 電池ふた
- ⑯ AC電源ジャック
- ⑰ カセット
- ⑱ カセットケース
- ⑲ 単一指向性マイクロホン
- ⑳ リモコンスイッチ
- ㉑ リモコンジャック

- ㉒ MICマイクジャック
- ㉓ AUX 入力ジャック
- ㉔ EXT 出力ジャック
- ㉕ スピーカモニタースイッチ



■カセット

カセットの入れかた



- 1) カセットオフボタンを押してカセットケースを開けます。
- 2) カセットはテープ面が露出している方を上にして、カセットケースにさし込み、そのままカセットケースを元に戻し込みます。なお、カセットのテープはセットに向かって右から左に巻かれますのでテープ量の多い方が右側にくるようにカセットをカセットケースに入れてください。
*テープのコーティング面（露出している面）には指を触れないように注意してください。
- 3) 再生および録音の状態ではカセットケースを開けるときは、カセットオフボタンを2度押ししてください。1度目で停止し、2度目でカセットが飛び出します。

誤消去防止装置

このセットには誤消去防止装置がついていますから大切な録音済カセットを間違えて消してしまう恐れがなくなりました。

録音済カセットの永久保存

貴重な録音を永久に残したい時はカセット背面の左右のツメを折ってください。片側の録音だけ保存したい時は図のようにその面を上にしてテープの露出面（開口部）を手前に見た時の左端のツメだけを折ってください。再び録音したい時は折ったツメの跡に硬い紙などをつめれば録音できます。

カセットが倍使える半幅録音方式

カセットは裏表使える半幅録音方式を採用しています。片面（SIDE 1）の録音ができたら、裏返して残りの片面を使います。

カセットの永久保存



ダブルトラック

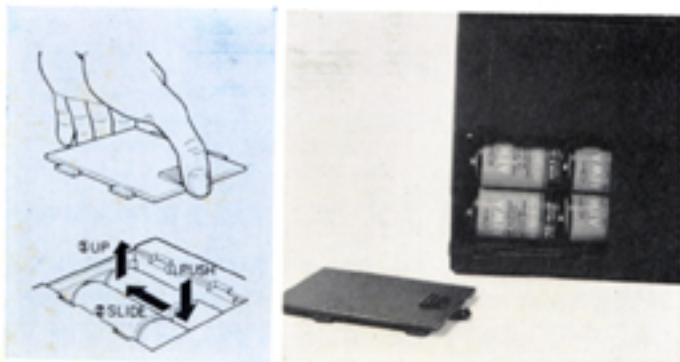


■電源のとりかた

*このTPR-101は電池ばかりでなく、電灯線からも電源がとれる2ウェイ電源方式です

電池電源

- 1) セットの裏面にある電池プタのつまみを押しながら左の方にすべらせてプタを開けます。
- 2) 付属の電池(単一型)4本を電池表示図に従って⊕⊖を間違えないように入れます。⊕⊖を間違えるとセットは働かないばかりかモータが逆転しテープを破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 3) 電池が正確に入りましたら電池プタをはめ右にすべらせてプタをします。
- 4) この場合 AC 電源コードはセットにさし込まないでください。電池電源回路が切れますから。



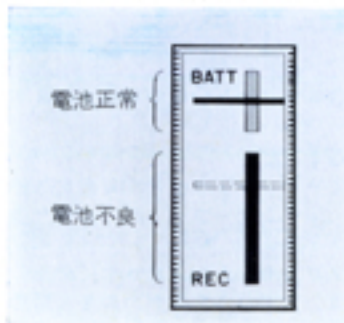
電池の交換時期

電源スイッチを入れた状態でレベルメータの計が赤ワク内であれば電池は正常です。計が黒ワク内にかかるようですと、電圧が下がり十分な性能を発揮できない状態にありますので新しい電池と交換してください。

電灯線電源

- 1) 付属のAC電源コードの突起のある方を右横にしてセットのAC電源ジャックにさし込みもう一方を電灯線コンセントに接続します。この時、自動的に電池電源は切れ電灯線電源で働きます。
- 2) なお、電池でお使いになる場合はこのAC電源コードはセットから必ず抜いてください。
- 3) このセットは電源周波数50サイクル地域60サイクル地域に関係なくどこでも使用できます。

電池の交換時期



電灯線電源



再生

*録音済カセットが付属しています。この音を再生して聞きましょう。

- 1) テープ/ラジオ切り換えスイッチをテープ(TAPE)に切り換えます。
- 2) カセットの入れかた“参照”。
- 3) 電源つまみを回し電源を入れます。
- 4) FWD再生ボタンを押してください。テープが進行します。
- 5) 音量は音量調整つまみを回して調整します。
- 6) 音質は音質調整つまみで調整します。右に回すと高音が、左に回すと低音が強調できます。

停止

- 1) 録音又は再生が終了したらカセットオフボタンを必ず押してください。
- 2) テープはカセットの中で固定されているため、終りになると自動的に止りますがモータの回転は止りません。この時も必ずカセットオフボタンを押してください。
- 3) カセットオフボタンを押しますとモータの電源は切れますがアンプ部の電源は切れません。このセットを使わない時は電源つまみを左に回し確実に電源を切ってください。

録音

*録音済カセットの場合は前の音は消え新しい音が録音されますのでご注意ください。

マイクロホンで録音するには



- 1) テープ/ラジオ切り換えスイッチをテープ(TAPE)に切り換えます。
- 2) カセットの入れかた“参照”
- 3) カセットを入れたのち音量調



整兼用の電源スイッチを右に回し電源を入れます。

- 4) マイクを図のように接続します。
- 5) マイクのリモコンスイッチをONにしておきます。
- 6) REC録音ボタンを押しながらFWD再生ボタンを押してください。テープが進行し録音状態に入ります。
- 7) モニタースイッチは1か2にしますが、ピーというハウリングが起る場合はモニタースイッチを0にし、EXT出力ジャックにイヤホンを差し込み、イヤホンから聞いてください。
- 8) マイクは口元から20cm程離します。
- 9) むづかしい録音レベル調整は不要です。自動音量調整装置(AVC)が音量を自動的に調整してきれいな録音をします。
- 10) 録音が終わりましたらカセットオフボタンを押してテープの進行を止めます。“カセットの入れかた”の3を参照。
- 11) 電源を切る時は電源つまみを左に回してカチッと切ってください。

ラジオ放送の同時録音

A. ラジオ放送の聞きかた

- 1) テープ/ラジオ切り換えスイッチをラジオ(RADIO)にします。
- 2) 音量調整兼用の電源つまみを右にカチッと回し電源を入れます。そのまま回していくと音量が増します。
- 3) バンドセクタボタンを押し、放送バンドを選びます。

- 4) チューニングつまみを左右に回し、ダイヤル板を見ながらお好きな放送を選びます。
- 5) FM放送受信の時はテレスコピックアンテナを根元まで十分引き出してください。とくにFM放送受信の際は根元を持って前後左右に倒して、最良の受信角度を選びます。
- 6) 音量は音量調整つまみで適当な音量に調整します。
- 7) 音質は音質調整つまみで調整します。右に回すと高音が左に回すと低音が強調できます。

B. ラジオ放送の録音

- 1) “カセットの入れかた” 参照
- 2) モニタースイッチを1か2にします。
- 3) REC録音ボタンを十分押しながらFWDボタンを押し込みます。
- 4) 録音調整はレベルメータを見ながら音量つまみを回して調整します。メータの針が黒ワクの中で振れていれば録音OK、赤ワクにかかると音量を小さくしてください。
- 5) “カセットの入れかた” の3を参照
電源を切る時は電源つまみを左に回しカチット切ってください。

録音注意：内蔵ラジオ放送からの録音の際、受信周波数によりスピーカからピーツという発振音（バックグラウンドノイズ）が発生する場合があります。そのときは、音質調整つまみ左の方（LOW）に完全に回し、カチッとスイッチを切ってください。（発振音が出ない場合はスイッチを切る必要がありません）途中で放送をかえ、発振音が発生した場合は、スイッチを元の位置にもどしてください。なを、音質調整つまみは再生のときか、ラジオを聞くときにしか動きません。

➔ 録音中の音を聞くには 〈モニター〉

モニタースイッチはセットの左側にあります。録音中、録音している音をスピーカから聞きたい時、このスイッチを1に、もっと大きな音で聞きたい時は2に、また、スピーカから音を出したくない時は0にしてください。

- マイクをセットの近くで使用するとピーという発振音（ハウリ

ング）が起きる場合があります。この時はモニタースイッチを0にし、イヤホンをEXT出力ジャックに差し込んでイヤホンから聞いてください。

- このサウンドモニター方式は内蔵ラジオ、他のラジオからの直接録音の場合にとくに便利です。

■ 消 去

- 1) 録音を消したい時はマイクジャックやAUX入力ジャックにコードを接続しないで録音状態にします。
- 2) また、みだん録音する時すでに録音されたものの上に録音すれば、前の録音は消えて新しい録音だけが残りますので、わざわざ消す必要はありません。

■ 巻戻し・早送り

- 1) いま録音した音を聞きたい時や同じ録音をくり返し聞きたい時はREW巻き戻しボタンをテープが希望のところへいくまで押しつけてください。
- 2) テープを飛ばして途中から聞きたい時、録音したい時はF.F.WD早送りボタンをテープが希望のところへいくまで押しつけてます。

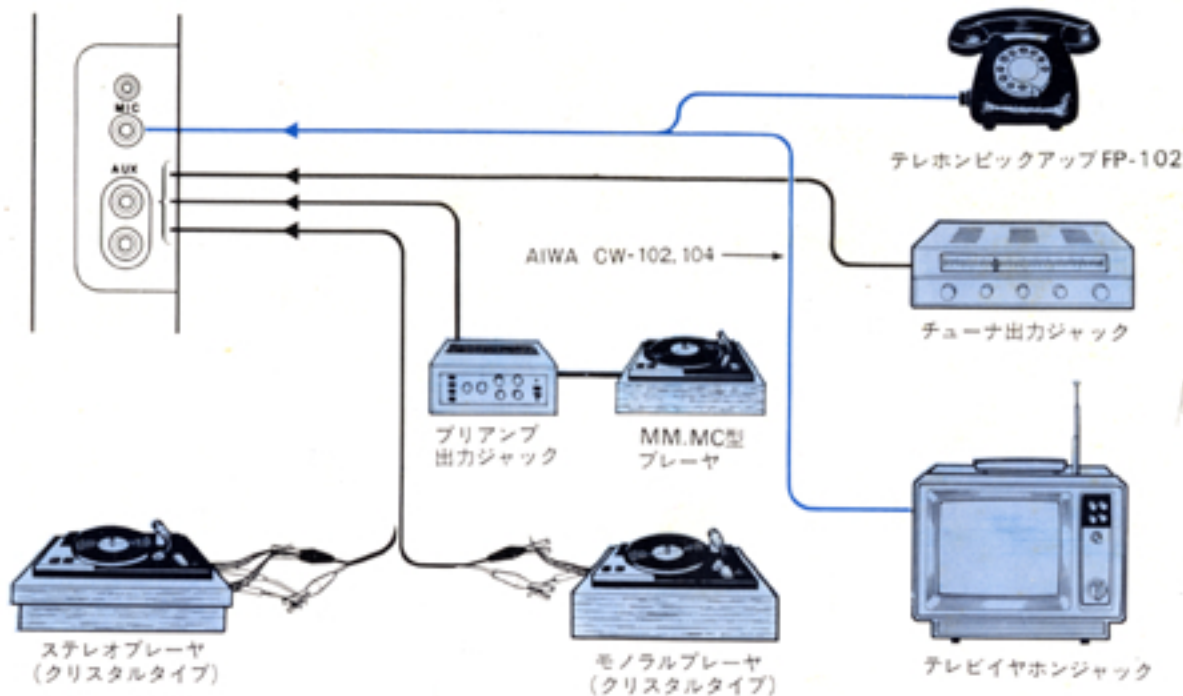
■ リモートコントロール

このマイクにはリモコンスイッチがついています。録音、再生の時、そのスイッチをONにすればテープは進行し、OFFにすれば止りますので、カセットオフボタンを押す必要はありません。

■ トーンコントロール

TPR-101には音質調整つまみがついてます。右に回すと高音が、左に回すと低音が強調されます。カセットを再生して聞く時、ラジオを聞く時使います。

■いろいろな録音



★AUX 入力ジャックの入力レベルの限度は100mVです
 ですのでチューナやレコードプレーヤから録音する際は、
 このレベルを超えないようにしてください。

★テレビ等のイヤホンジャックから録音する場合は
 アイワCW-102, 104のような低抵抗減衰器入の接続コード
 を使用し、マイクジャックに接続してください。

EXTジャック(3.5mmφ)

TPR-101

外部スピーカ(8Ω)

イヤホン

アンプ
入力ジャック

■録音済テープの複写

テープを複写するには、もう1台のテープレコーダを再生用に使いTPR-101を録音用として使います。接続はこのTPR-101のAUX入力ジャックと再生用テープレコーダの出力ジャックを接続コード(アイワラジオコード)でつなぎます。再生用テープレコーダの音量はふだん聞いている程度にしておきます。

■外部スピーカ、アンプへの接続

- 1) 接続コードを出力EXTジャックと外部の大きなスピーカ(8Ω)につなぐとTPR-101の音は自動的に切れ、迫力あるHi-Fi音をそのスピーカから聞けます。
- 2) 大音量を必要とする時はEXT出力ジャックとお手持ちのアンプの入力端子を接続コードでつなぎアンプのスピーカから鳴らします。

■イヤホンの楽しみかた

EXT出力ジャックにイヤホンのプラグをさし込みます。再生、録音の時もラジオをひとりでも楽しむ時も使えます。なおこの時スピーカからの音は自動的に聞えなくなります。

■ ご注意していただきたいこと

TPR-10は非常に精巧にできていますから、ご使用になるとき、保管するときは次の点にご注意ください。

1. 電灯線電源での使用が終了したら必ずACコードをはずし電源を切ってください。
2. ホコリや砂ボコリのたつ所での使用保管はなるべくさけてください。
3. 夏の直射日光の下やストーブのそばなど高温の場所での使用はなるべくさけてください。トランジスタの特性に変化をきたし性能を悪くする恐れがあります。
4. マイクロホンは落したり強い衝撃を与えますと感度が悪くなる恐れがありますのでご注意ください。
5. 録音済カセットの保管は、磁石やモータ、テレビなど磁気を生ずるものの近くには置かないでください。テープに録音が入ったり、消されたりすることがあります。
6. ヘッド部に、衝撃や、ドライバー、鉄類を当てたり、磁気などを近づけないでください。
7. カセットを入れ、録音状態に入ってもテープが進行しない場合、リモコンスイッチをもう1度調べてください。OFFになっているとテープは進みません。再生のときも同じです。

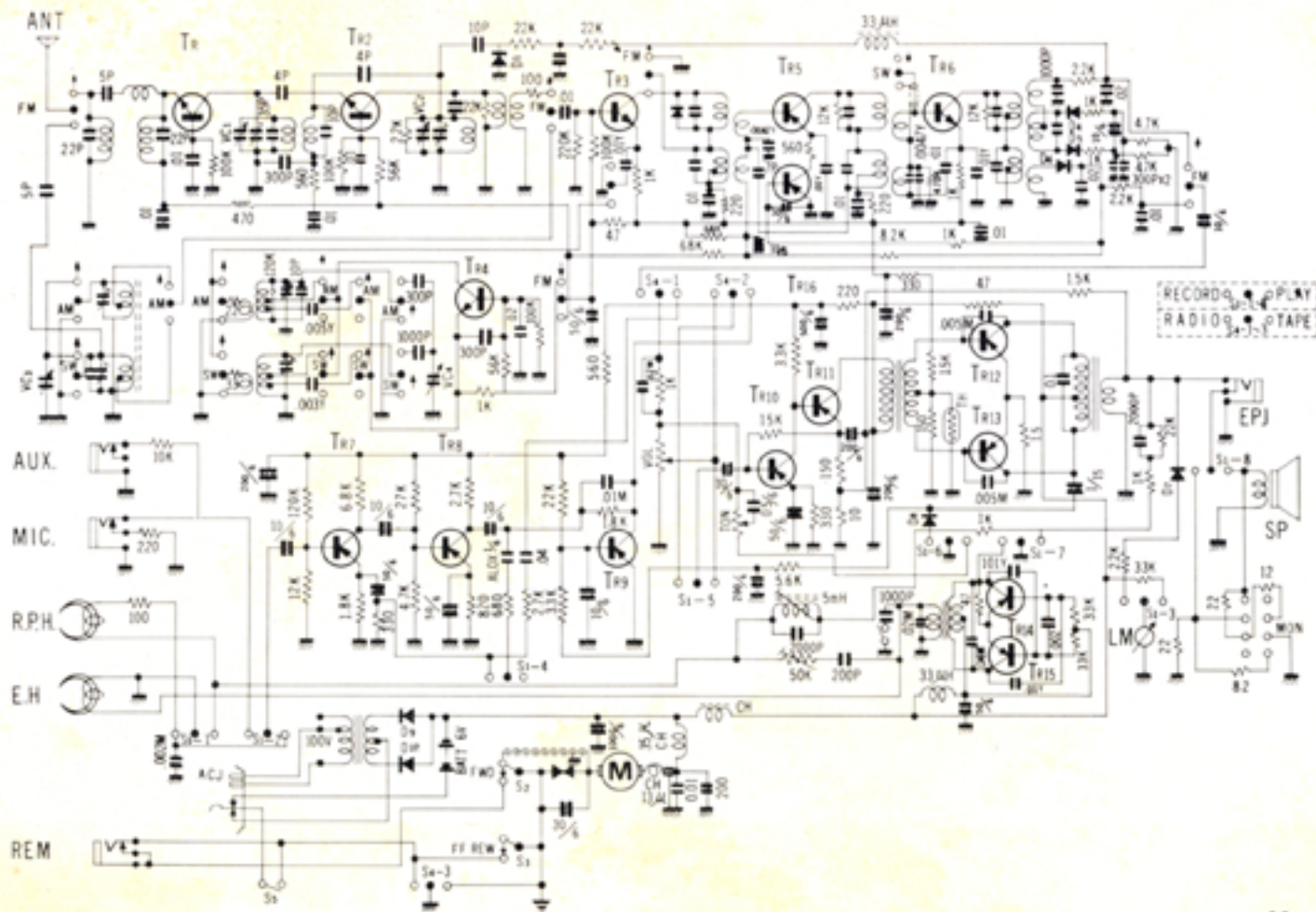


規 格

形 式	FM/AM/SW 3バンドラジオ付カセットテープレコーダ キャブスタンドライブ、半幅録音方式
半導体	16トランジスタ
受信周波数	FM76~90Mc AM525~1650Kc SW3.9~12Mc
出 力	最大 1.2W
スピーカ	75×120mm 8Ω
アンテナ	フェライトバーアンテナ (AM, SWバンド) 8段テレスコピック アンテナ (FMバンド)
録音方式	ACバイアス
消去方式	AC消去
テープ速度	4.8cm/1秒
録音時間	往復 60分 (カセットC-60) 往復 90分 (カセットC-90)
巻き戻し時間	90秒以内
早送り時間	160秒以内
モータ	機械式ガバナーマータ
寸 法	285×231×90mm
重 量	2.8kg(電池除く)

付 属 品

単一指向性ダイナミックマイクロホン	
DM-72(リモコンスイッチ付)	× 1
AC電源コード	× 1
無録音カセット	× 1
録音済カセット	× 1
イヤホン	× 1
電池 (UM-1)	× 4
皮ケース	× 1



音響機器の総合メーカー / アイワ 主要生産品目

■テレビ / トランジスタテレビ ■ステレオ / フォノプレーア / フォノラジオ ■トランジスタ・ラジオ / FMラジオ / FMマルチ・アダプタ
 ■テープレコーダ / ステレオ・テープレコーダ / コンパクトカセットレコーダ / カセット・ステレオレコーダ / カープレーア ■トランシーバ / 各種マイクロホン / その他 音響機器および付属品

アイワ株式会社

本 社	東京都千代田区外神田5-2-3	TEL 東京 (833) 1531 大代表
板橋事業所	東京都板橋区前野町6-13	TEL 東京 (960) 8111 大代表
札幌営業所	札幌市南九条西十丁目(九条ビル)	TEL 札幌 (52) 5261
仙台営業所	仙台市小田原山本町8-4(交支ビル)	TEL 仙台 (56) 6370
横浜営業所	横浜市中区長者町2-5-11(馬場ビル)	TEL 横浜 (641) 2209
名古屋営業所	名古屋市中区西瓦町59(万国ビル)	TEL 名古屋 (251) 4998
大阪営業所	大阪市天王寺区大道3-171(双正ビル)	TEL 大阪 (779) 7301
福岡営業所	福岡市港1-4-8(美ビル)	TEL 福岡 (74) 9557
広島営業所	広島市舟入本町2-34(住田ビル)	TEL 広島 (31) 0340
立川営業所	立川市羽衣町3-27	TEL 立川 (22) 5233
新潟営業所	新潟市下大川前4-2-95	TEL 新潟 (23) 0131
高松営業所	高松市番町3-7-14(和木ビル)	TEL 高松 (61) 7440


AIWA CO., LTD.